

糖度が高く美味しいナシ「甘太」の安定栽培に向けて

ナシ「甘太」は、農研機構果樹茶業研究部門が育成した品種です。

この「甘太」は、果実糖度が高く、美味しいため、京都北部の丹後地域ではナシ「二十世紀」の収穫時期の後に収穫できる品種として栽培面積が増えています。

しかし、「甘太」の栽培が進む中、花芽の着生が不安定で、収穫量が少なくなるという問題が発生しており、生産者から解決策が求められています。

そこで、当研究所では、令和4年度から「甘太」の安定生産に向けた研究に取り組んでいます。



ナシ「甘太」の花芽の着生状況を調査する研究員